

2000年8月27日

報道関係各位

〔速報〕2000第3回日本スプリントトライアスロン選手権 第13回瀬戸大橋さぬき広島トライアスロン大会

競技距離	スプリント選手権：30.75km（スイム0.75km/バイク25km/ラン5km） 一般の部：51.5km（スイム1.5km/バイク40km/ラン10km） ハーフの部：25.8km（スイム0.8km/バイク20km/ラン5km）
開催日	2000年（平成12年）8月27日（日）
開催地	香川県丸亀市広島町特設会場
主催	広島町まちおこし実行委員会、（社）日本トライアスロン連合（JTU）

女子は大松が初優勝、男子は山本が2連覇

7月27日（日）、第3回スプリントトライアスロン選手権が、香川県丸亀市広島町の特設コースで開催された。

男子は、スイムから積極的なレースをした山本淳一（26/チームNTT東日本）がバイクから独走。ランでもほかの選手を寄せ付けず、1時間9分52秒のタイムで優勝、スプリント選手権2連覇飾った。女子は、スイムで出遅れた大松沙央里（18/日本女子体育大学）がバイクでトップを奪い、ランで追う中川絵理（19/愛知県協会）を振り切って、1時間17分23秒で初優勝した。

また同時開催の第13回瀬戸大橋さぬき広島トライアスロン大会は、一般の部女子は森貴子（28/香川県協会）が2時間34分34秒で、男子は濱野隆弘（32/香川県協会）が2時間7分13秒で、ハーフの部女子は大柿智子（23/徳島県協会）が1時間25分28秒で、男子は細田雄一（15/徳島県協会）が1時間13分51秒で優勝した。

山本がカムバックを2連覇で飾る

午前9時00分、気温30度にせまる気候のなか、男子がスタート。水温27.3度であったため、ウエットスーツ着用不可で、競技は開始された。

375m、2周回のスイムの序盤から先行したのは平野司（17/東豊中高校）。9分30秒で水から上がると、斉藤大輝（25/アラコ）、山本、がそれに続いた。

アップダウンの激しい2周回25kmのバイクに入ると序盤で斉藤が脱落。山本が順調に逃げるが下りで落車し、平野に追いつかれた。その後平野がチェーン切れで後退。山本がトップでバイクを終えた。

3周回のランでは、山本がアドバンテージを守りきり、昨年のスプリント選手権東京港大会に続いて2連覇を飾った。2位は1時間10分41秒でジュニアの狩野智彦（16/県立渋谷高校）が、3位には1時間11分4秒で竹内鉄平（23/アラコ）が入った。

優勝の山本は、「オリンピック選手選考にもれ、トライアスロンをやめようかと思ったが、またトップを目指して練習を再開した。そのカムバックのレースに勝ててうれしい」と喜びを表した。

大松が思いきりのいいレースで初優勝

9時50分のスタートとなった女子は、中島千恵（17/都立第五工業高校）が10分4秒でトップフィニッシュ。3秒後に下村真紀（25/チームテイケイ練習生）が追い、その後15秒遅れて朝倉悠加（18/女子美術短期大学）、名取仁美（17/山梨学院大学附属高校）長岡千絵（20/千葉県連合）ら若手アスリートが続いた。

バイクでは、スイムで先行した選手を追う大松、中川、櫻井博江（30/チームテイケイ）らが2周目に先頭集団を形成した。

ランに入ると、トランジションで手間取った中川を大松がパス。徐々に差を広げ、1時間17分23秒で初優勝した。2位には24秒遅れて中川が入り、3位にはランで追い上げた枇杷田深雪（21/ニデック）が1時間18分11秒のタイムでフィニッシュした。

大松は、「スプリントなので、最初から思い切り行くしかないと思って戦った。枇杷田選手の追い上げが怖かったが、5kmなので逃げ切れた」とほっとした表情で語った。

選手権の部

- ・ 出場選手数29名（女子13名、男子16名）
- ・ 完走選手数28名（女子12名、男子16名）
- ・ 天候：晴れ 気温：28.5 水温：27.3 湿度：64%（7:00am現在）

〔問合せ先〕 社団法人日本トライアスロン連合

〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-9-10 青山キングビル3F

03-5469-5401(代) Fax 03-5469-5403